# 親子でつくろう！ベランダ菜園

栽培の難易度：難 中 易

コンテナの大きさ：標準

## ミニニンジン（セリ科）

### ベランダ栽培のポイント

1.種まき後は発芽するまで毎日水やりをする。
2.間引きが重要。品種に適した株間を早めに確保する。
3.間引きのたびに、生育をみながら追肥をする。

| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

種まき期間　植えつけ期間　収穫期間

**ミニでも栄養豊富**

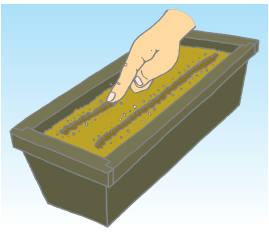
ニンジンは、カロテンを豊富に含む緑黄色野菜です。とくにカロテンは体内に入るとビタミンAに変わり、健康にとてもよいので、野菜ジュースの素材として注目されています。発芽適温は15～25度、生育適温は20度前後と冷涼な気候を好みます。日当たりのよい場所に置いて、発芽まで乾燥させないように、とくに水やりに気をつけます。無農薬で作れますが、葉はキアゲハの幼虫の大好物。見つけたらすぐに退治しましょう。

## 1.スタート

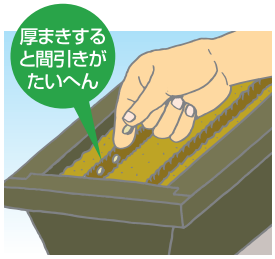
### 種まき

ニンジンは発芽がポイントとなる野菜のひとつです。好光性種子といって、光に当たって発芽が促進されるので、種にかける土はごく薄くします。

**1.種をまく**



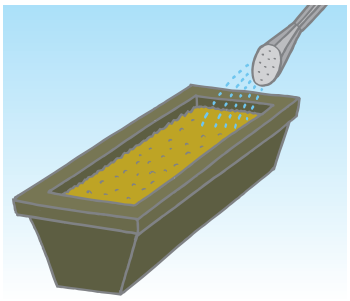
コンテナに土を入れ、平らにならす。条間（列と列の間）を10～15cm程度あけて、ごく浅いまき溝を2本つける。




まき溝に1cm間隔で種をまく。厚まきすると後で間引くのがたいへんなので、間隔を守っていねいに。

**2.土をかぶせる**

まき溝の周囲の土を指先で寄せるようにする。光が当たらないと発芽率が悪くなるので、土はごく薄くかけて、手のひらで種と密着させる。

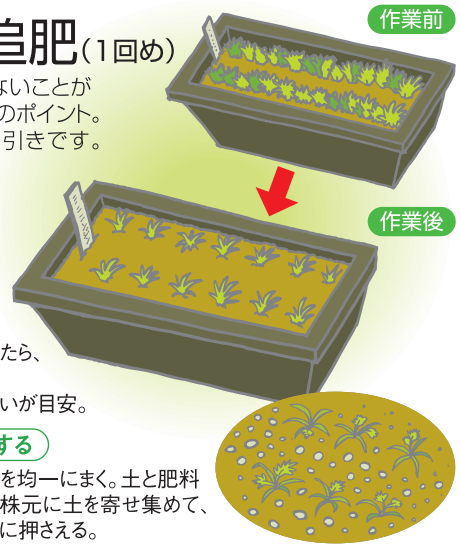


たっぷりと水やりする。日に当てて、発芽までは水を切らさないように。

## 2.2週間後

### 間引き・追肥（1回め）

発芽まで乾燥させないことがニンジン作りの最初のポイント。第2のポイントは間引きです。しっかりと太ったニンジンにするためには、とてもたいせつな作業です。




**1.間引きをする**

本葉が1～2枚出てきたら、3cm間隔に間引く。
葉が触れ合わないくらいが目安。

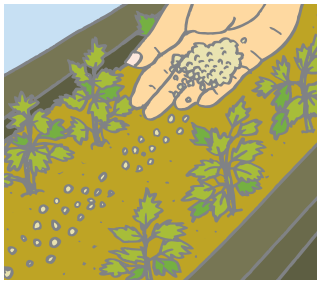
**2.追肥・土寄せをする**

条間に化成肥料10gを均一にまく。土と肥料を混ぜ合わせるように株元に土を寄せ集めて、株がぐらぐらしないように押さえる。

## 3.4週間後～

### 間引き・追肥（2～3回め）

本葉が3～4枚になったら5～6cm間隔に間引き、本葉が6～7枚になったら10～12cm間隔に間引くと、根がより太くなり充実します。生長ぐあいをみながら間引きと追肥を繰り返して、肥料を切らさないようにするのがポイントです。



本葉が3～4枚になったら5～6cm間隔に間引き、あわせて化成肥料10gを条間にばらばらとまく。

## 4.10週間後

### 収穫

種まきから70日で収穫を迎えます。根元を探ってみて太く大きく育ったものから収穫します。とり遅れると根が割れてしまうことがあるので注意しましょう。

地ぎわの根の太さが1.5cmくらいになったら収穫の適期。根元を持って引き抜く。

SHARP 冷凍ストッカー　家計応援

5年間使用で、電気代差額は約64,800円、なんと約1台分！
※20年前のストッカーは、エーコープ製ACOOP-1897Rを2006年新測定方法換算し、電気代を1kwh=24円として産出。

買い替えでお得！

20年前の冷凍ストッカーを最新の省エネタイプに替えると…

20年前の冷凍ストッカー ACOOP-1897R(187L) 770kwh/年(18,480円) − 最新の冷凍ストッカー FC-B20W(200L)(H25.5.現在) 230kwh/年(5,520円) ＝ 年間で電気代が…約12,960円お得！

年間消費電力 230kwh/年　定格内容積 200L
冷凍ストッカー FC-B20W
オープン価格
特別価格 59,800円（税込）

年間消費電力 280kwh/年　定格内容積 300L
冷凍ストッカー FC-B30W
オープン価格
特別価格 69,800円（税込）

タテ型冷凍庫（4段・86ℓ・39,800円（税込）/6段・167ℓ・49,800円（税込））もございます。　ご注文・お問い合わせ　JAとうと経済部　☎68-5120